

2025年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2024年11月11日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



1

第2四半期決算の概要(連結)

1) 当第2四半期の決算概要

	前第2四半期 累計 (2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)			対前年同期 増減率(%)
		期初予想	8月2日 修正予想	実績	
売上高	103,536	104,000	102,000	102,784	△ 0.7
国内売上高	65,708	-	-	66,243	0.8
海外売上高	37,828	-	-	36,541	△ 3.4
売上総利益 (売上総利益率)	52,005 50.2%	-	-	51,906 50.5%	△ 0.2
営業利益 (営業利益率)	7,491 7.2%	7,000 6.7%	3,000 2.9%	5,114 5.0%	△ 31.7
経常利益	12,546	7,000	3,000	2,139	△ 82.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,997	4,500	1,500	463	△ 94.2

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

為替影響除く: △12%
(為替・前年同期決算期変更影響※除く: △6%)

自社品 2023/9 2024/9
売上高比率: 72.9% → 71.5%

販管費: 445億円 → 467億円
販管費率: 43.0% → 45.5%

為替差損益 差益4,866百万円 → 差損3,327百万円

【特別損失】事業再編費用: 182百万円

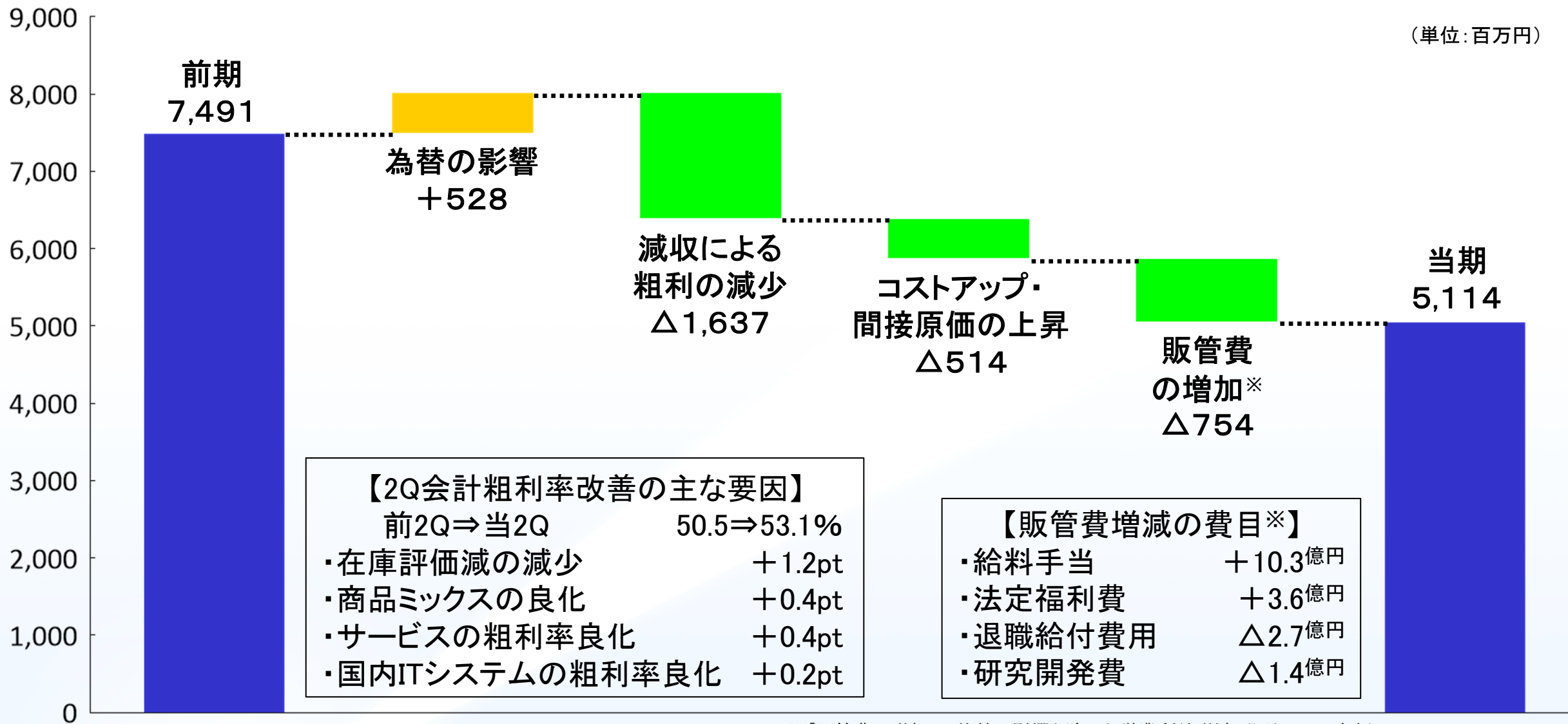
平均レート	(2023/9)
1米ドル	139.6円
1ユーロ	153.3円

	(2024/9)
	153.6円
	166.3円

※前連結会計年度において、米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。前中間連結会計期間は、2023年1月1日から2023年9月30日までの9ヵ月決算を連結しています。

2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)

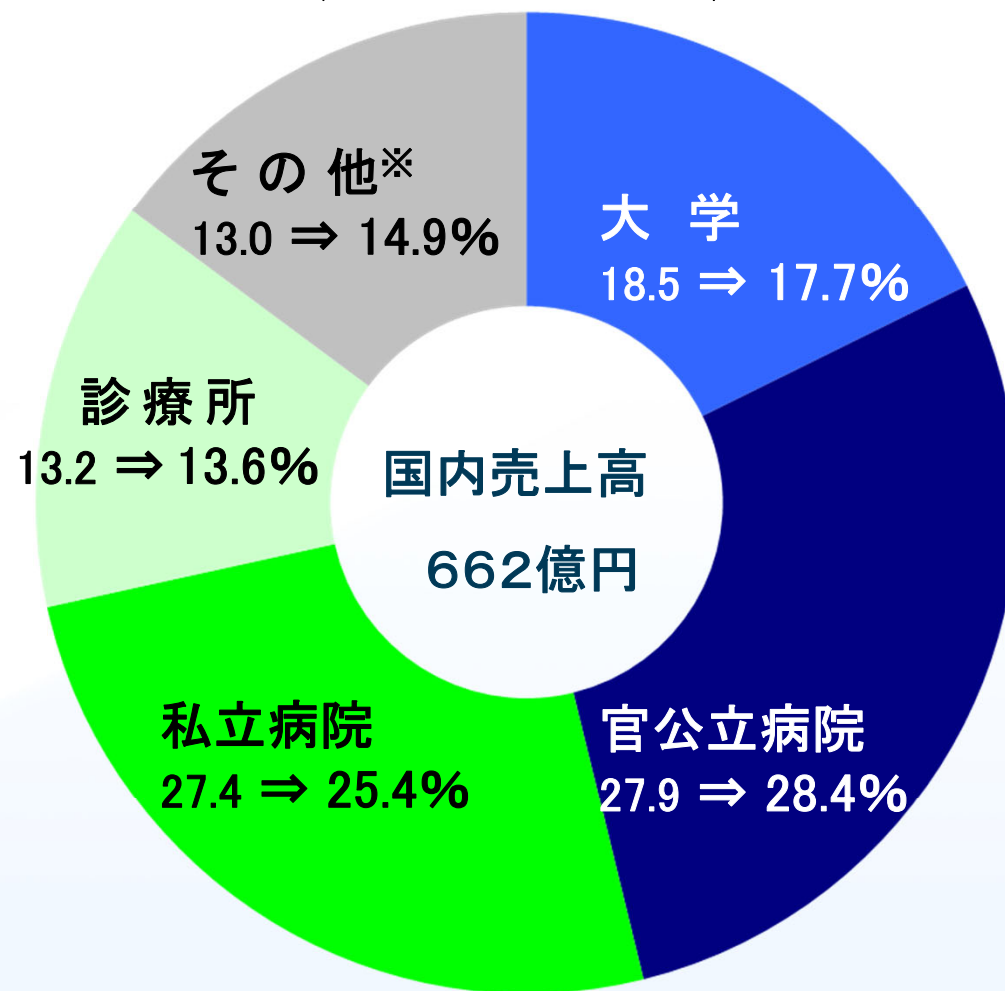
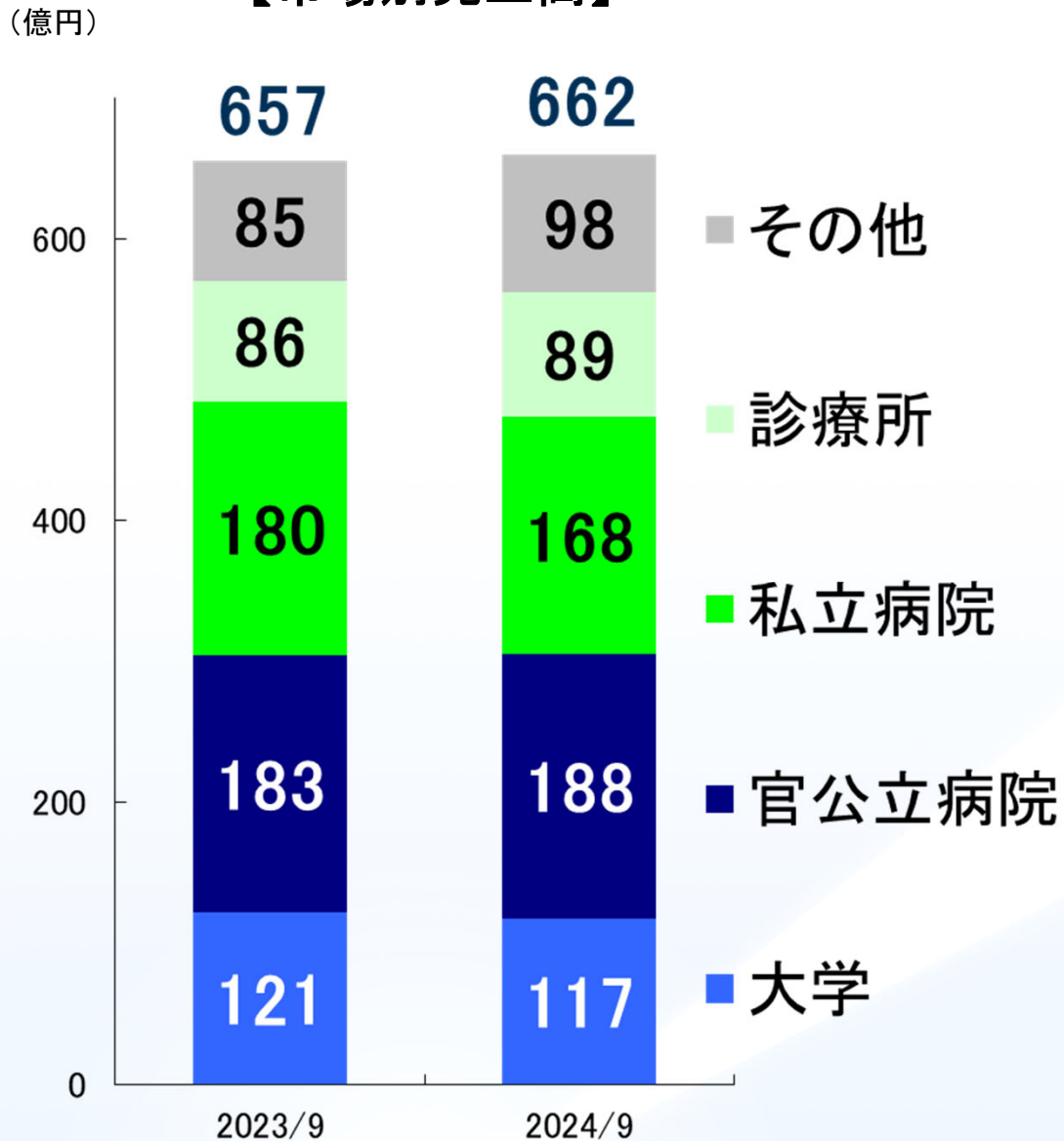


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

3) 国内売上高

【市場別売上高】

市場別売上構成比
(2023/9⇒2024/9)



*その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

【海外売上高】

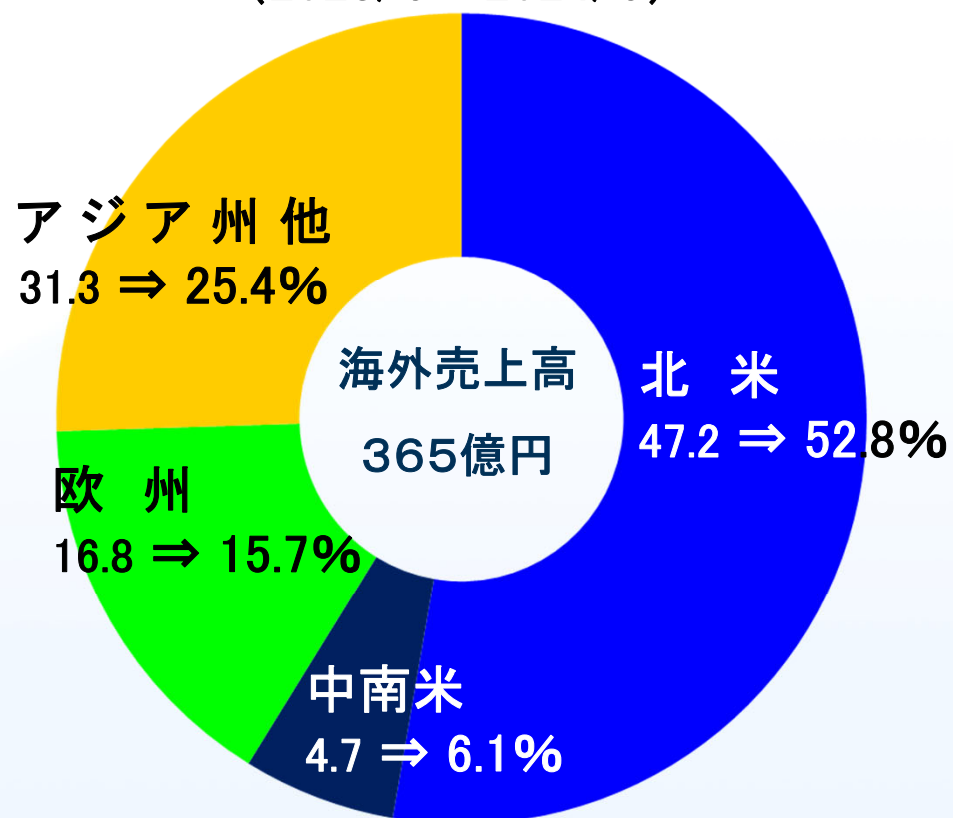
前期比△3%

(為替影響除く: △12%
為替・前年同期決算期変更影響除く: △6%)

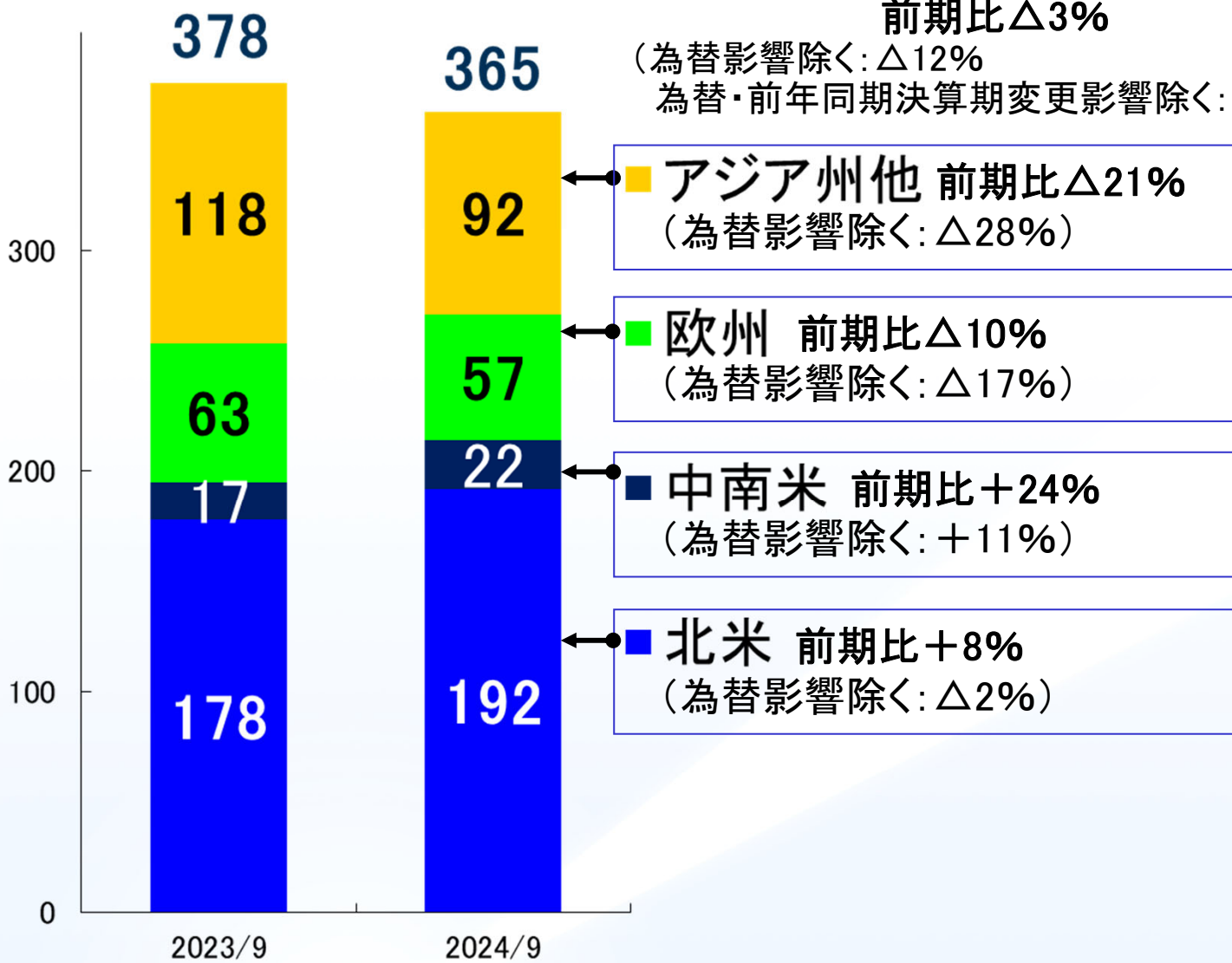
海外売上高比率

2023/9	2024/9
36.5%	35.6%

地域別構成比
(2023/9⇒2024/9)



(億円)



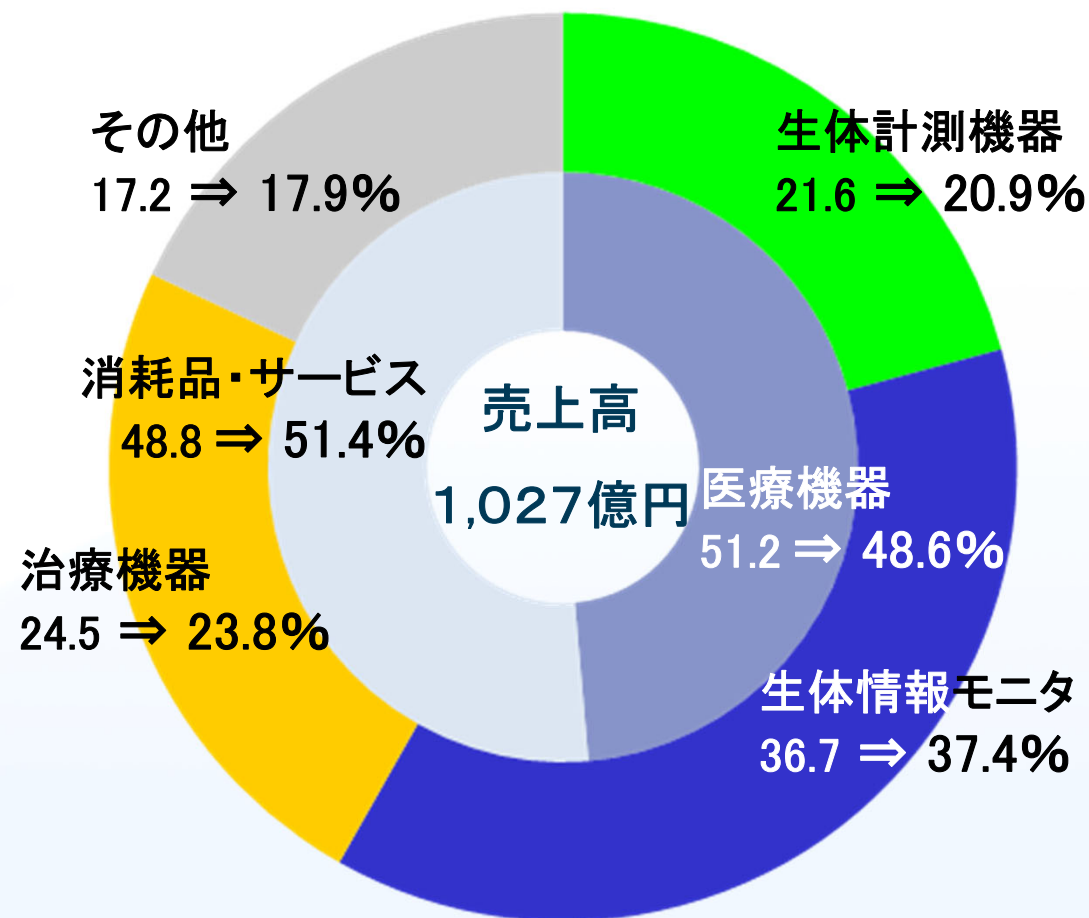
5) 商品群別売上高

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減率 (%)
生体計測機器	22,329 (45%)	21,474 (40%)	△ 3.8
生体情報モニタ	37,989 (62%)	38,478 (64%)	1.3
治療機器	25,367 (43%)	24,444 (42%)	△ 3.6
その他	17,849 (44%)	18,387 (46%)	3.0
売上高合計	103,536 (50%)	102,784 (51%)	△ 0.7

(単位:百万円)

商品群別売上構成比

(2023/9⇒2024/9)



(ご参考)

医療機器	52,989 (51%)	49,966 (52%)	△ 5.7
消耗品・サービス	50,547 (50%)	52,818 (50%)	4.5

※ 表の括弧内は、売上総利益率を示しています。

5.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減率(%)
脳神経系群	4,915	4,760	△ 3.1
心電計群	3,156	3,025	△ 4.2
心臓カテーテル検査装置群	8,521	8,690	2.0
診断情報システム群	3,056	2,296	△ 24.9
その他※	2,679	2,701	0.8
生体計測機器合計	22,329	21,474	△ 3.8
うち国内売上高	16,924	16,659	△ 1.6
うち海外売上高	5,405	4,814	△ 10.9

(単位:百万円)

診断情報システムが大幅増収となった前年同期からの反動減。脳神経系群は二桁成長となり、心電計群も好調。心臓カテーテル検査装置群は堅調に推移。

脳神経系群、心電計群ともに、中国を中心にアジア州他で減収。

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1290



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-2300



心電計
ECG-3250



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

5.2) 生体情報モニタ

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	37,989	38,478	1.3
うち臨床情報システム群	2,955	1,822	△ 38.3
うち国内売上高	21,412	20,630	△ 3.7
うち海外売上高	16,577	17,847	7.7

(単位:百万円)

臨床情報システムが大幅増収となった前年同期からの反動減。ベッドサイドモニタも減収。医用テレメータ、送信機は好調に推移。

北米、中南米、欧州で二桁成長。アジア州他では、前年同期に好調だった中国を中心に減収。



5.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	3,690	3,890	5.4
A E D	14,174	11,495	△ 18.9
ペースメーカー・ICD	1,258	1,258	0.0
人工呼吸器	2,597	3,769	45.1
その他	3,646	4,030	10.5
治療機器合計	25,367	24,444	△ 3.6
うち国内売上高	12,981	14,648	12.8
うち海外売上高	12,385	9,795	△ 20.9

【国内】消防機関で更新商談の受注により好調に推移。
 【海外】中南米、欧州で前年同期を上回る。

【国内】更新需要が回復、消耗品も好調に推移し、二桁成長。
 【海外】前年同期のデフィブテック社の決算期変更影響に加え、各地域の代理店で在庫調整もあり減収。

【国内】消耗品・サービスが前年同期を上回る。
 【海外】北米でマスク型人工呼吸器が大幅増収。アジア州他も好調に推移。

【国内】アブレーションカテーテルが好調に推移。

(参考) AED販売台数	81,700台	54,700台	△ 33.0
うち国内販売台数	24,200台	29,500台	21.9



除細動器
EMS-1052



オートショック
AED-3250

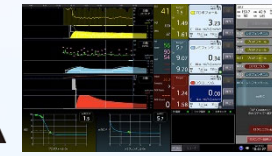


心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550/440/330

AsisTIVA



全静脈麻酔支援シリンジポンプ
制御ソフトウェア ROP-1680



自動心臓マッサージ
装置 RMU-N2000

5.4) その他

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減率(%)
検体検査装置	6,122	6,516	6.4
画像診断装置他 [※]	11,727	11,871	1.2
その他合計	17,849	18,387	3.0
うち国内売上高	14,389	14,304	△ 0.6
うち海外売上高	3,459	4,083	18.0

(単位:百万円)

現地仕入品が減収。医療機器の保守サービスは好調に推移し、検体検査装置・試薬も堅調。

検体検査装置・試薬が欧州、中南米で二桁成長。

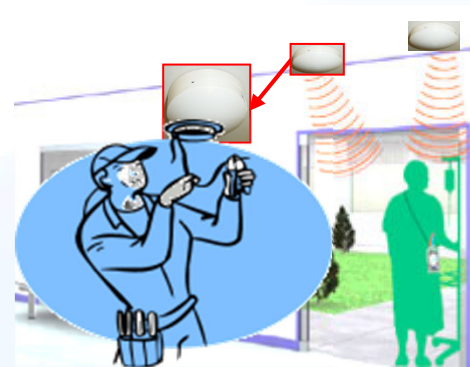
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9200



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2024/3	当第2四半期末 2024/9	増減額		前期末 2024/3	当第2四半期末 2024/9	増減額
流動資産	184,333	167,891	△ 16,442	流動負債	49,901	40,092	△ 9,809
棚卸資産	57,787	55,950	△ 1,836	有利子負債	579	477	△ 102
有形固定資産	25,418	25,960	541	固定負債	2,249	2,122	△ 126
無形固定資産	4,852	5,203	351	純資産	181,082	176,385	△ 4,697
投資その他資産	18,628	19,545	916				
資産合計	233,233	218,600	△ 14,633	負債・純資産合計	233,233	218,600	△ 14,633

棚卸資産回転月数	6.3ヵ月	6.1ヵ月		自己資本比率	77.6%	80.7%	
----------	-------	-------	--	--------	-------	-------	--

【流動資産の減少の理由】

受取手形及び売掛金	△147億円
現金及び預金	△20億円

【流動負債の減少の理由】

支払手形及び買掛金	△30億円
未払法人税等	△26億円
未払金	△19億円

7) キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	増減額
I 営業CF	9,488	7,888	△ 1,600
II 投資CF	△ 2,874	△ 3,366	△ 491
FCF	6,614	4,521	△ 2,092
III 財務CF	△ 3,553	△ 5,034	△ 1,481
換算差額	2,114	△ 672	△ 2,786
増減額	5,175	△ 1,185	△ 6,360
期末残高	49,163	48,692	△ 471

	2023/9	2024/9	増減
税金等調整前中間純利益	12,545	1,908	△10,637
為替差損益(益:△)	△3,152	2,346	+5,499
売上債権の増減額(増加:△)	9,445	14,143	+4,698
仕入債務の増減額(減少:△)	△6,635	△2,337	+4,298
法人税等の支払額	△2,829	△5,362	△2,532

	2023/9	2024/9	増減
自己株式の取得による支出	△0	△2,306	△2,305
配当金の支払額	△3,445	△2,602	+843

【自己株式の取得予定】

取得期間:2024年8月5日~2025年3月31日
取得価額:100億円(上限)

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2023/9)	当第2四半期 累計(2024/9)	2024/3 前期実績	2025/3予想	
				期初	11月7日修正
設備投資額	2,006	3,341	4,978	10,300	10,300
減価償却費	1,684	1,925	3,704	4,500	4,400
研究開発費	3,327	3,186	6,996	7,500	7,400

●2025/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約30億円 < 23/3:3億円、24/3:5億円
25/3:11億円、26/3:11億円

PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設

総投資額:約110億円 < 23/3:23億円(土地取得)
~25/3:41億円、26/3~:46億円
(建屋・設備等)

着工:2024年7月 完成:2025年末
稼働開始:2026年予定



※イメージ図

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

2

通期の業績見通し

1) 経営環境

欧米では金融政策が緩和傾向も、地政学リスクもあり景気先行きは不透明
インフレや人件費の上昇による医療機関の経営への影響を引き続き注視

国内

医療従事者の確保、働き方改革の推進

- 2024年6月 診療報酬改定:本体+0.88%増賃上げのため基本料等を引上げ、医療DX・感染症対策、タスクシフトの推進

地域包括ケアシステムの深化、医療機能の分化・強化、連携

- 地域医療介護総合確保基金 2024年度1,029億円(医療)

2024年4月からの働き方改革により、医療従事者の確保が課題、医療機関の経営悪化が顕在化

海外

欧米諸国

- 米国では医療機関の経営が改善傾向、医療機器の設備投資に回復の兆し
- 医療DX・医療IT需要の高まり
- 人工呼吸器市場からの海外企業の撤退

新興国

- 中国で反腐敗運動や景気減速の影響
- 各国で保護主義の動き
- 医療機器に関する規制強化への対応

2) 通期の業績見通し

	2024/3 前期実績	2025/3予想		増減率 (%)
		期初	11月7日修正	
売上高	221,986	229,000	227,000	2.3
国内売上高	142,370	147,000	147,000	3.3
海外売上高	79,615	82,000	80,000	0.5
売上総利益 (売上総利益率)	111,346 50.2%	118,000 51.5%	116,300 51.2%	4.4
営業利益 (営業利益率)	19,591 8.8%	23,000 10.0%	20,500 9.0%	4.6
経常利益	25,589	23,000	18,000	△ 29.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,026	16,000	12,000	△ 29.5

(単位:百万円)

為替影響除く: △3%
為替・前期決算期変更影響除く: ±0%

【地域別海外売上高】

	2024/3 前期実績	2025/3予想		増減率 (%)
		期初	11月7日修正	
北米	37,058	38,100	40,400	9.0
中南米	6,039	5,200	5,200	△ 13.9
欧州	13,104	12,400	12,000	△ 8.4
アジア州他	23,413	26,300	22,400	△ 4.3
海外計	79,615	82,000	80,000	0.5

	2024/3	2025/3	11月7日修正
海外売上高比率	35.9%	35.8%	35.2%

平均レート

1米ドル	143.9円	140円	149円
1ユーロ	156.8円	150円	160円

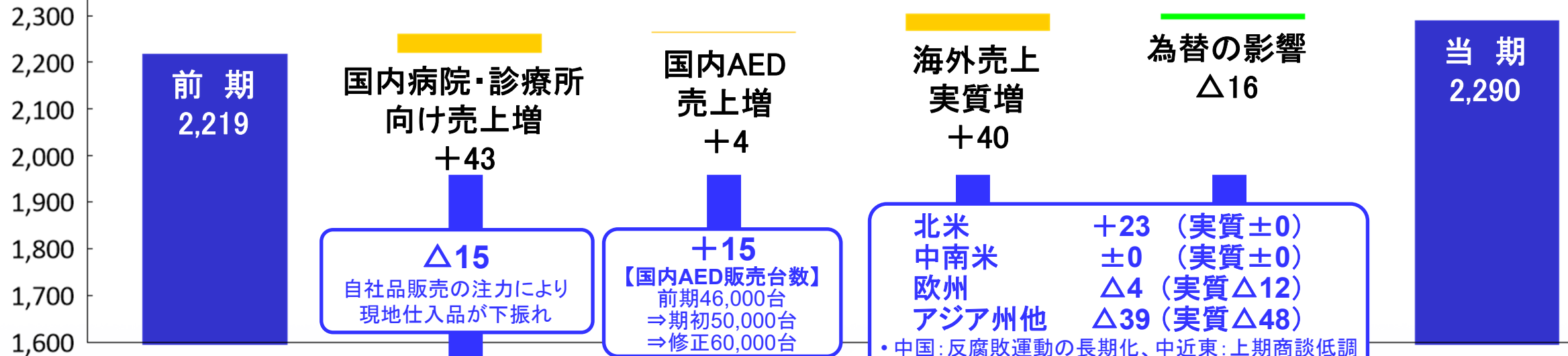
(下期)

145円
155円

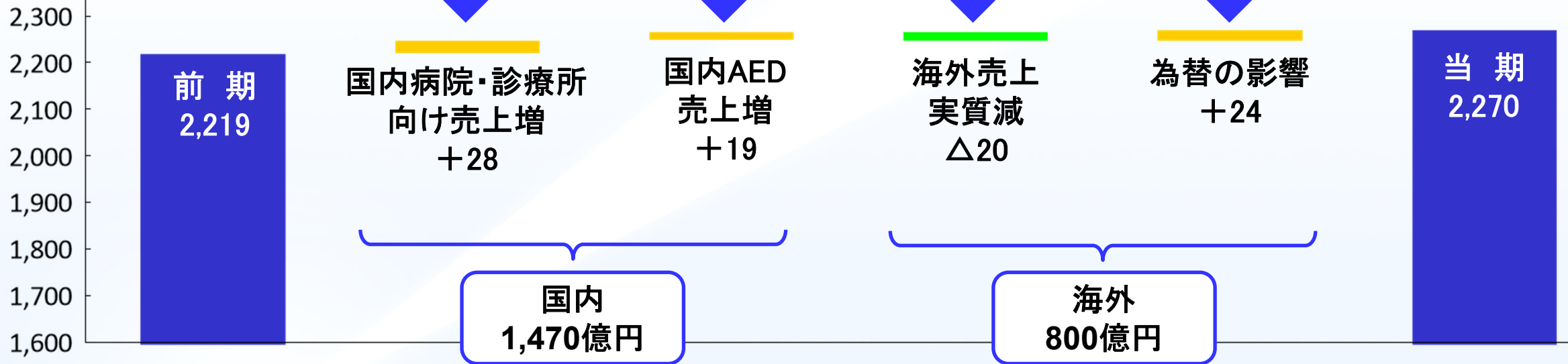
3) 売上見通しの要因分析

(単位: 億円)

【期初予想】



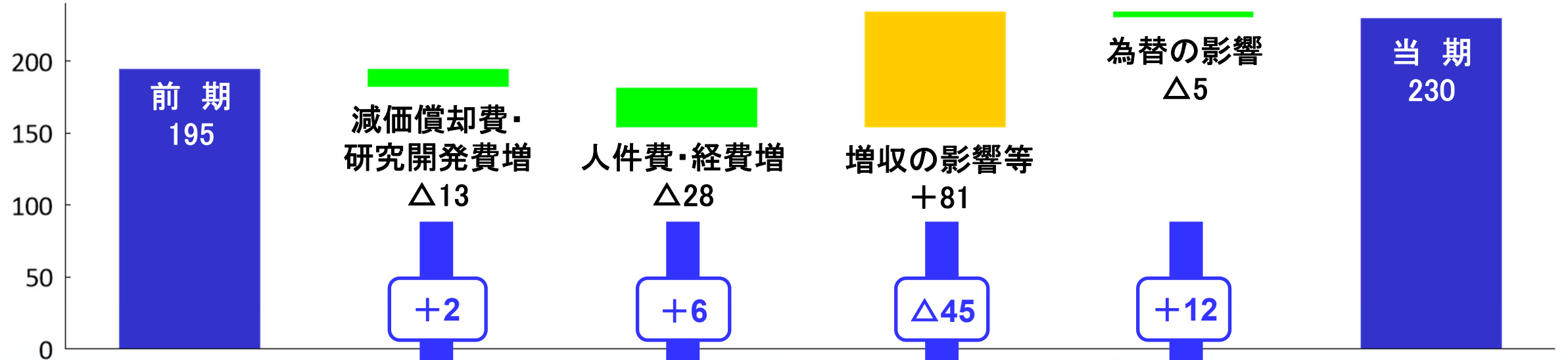
【修正予想】



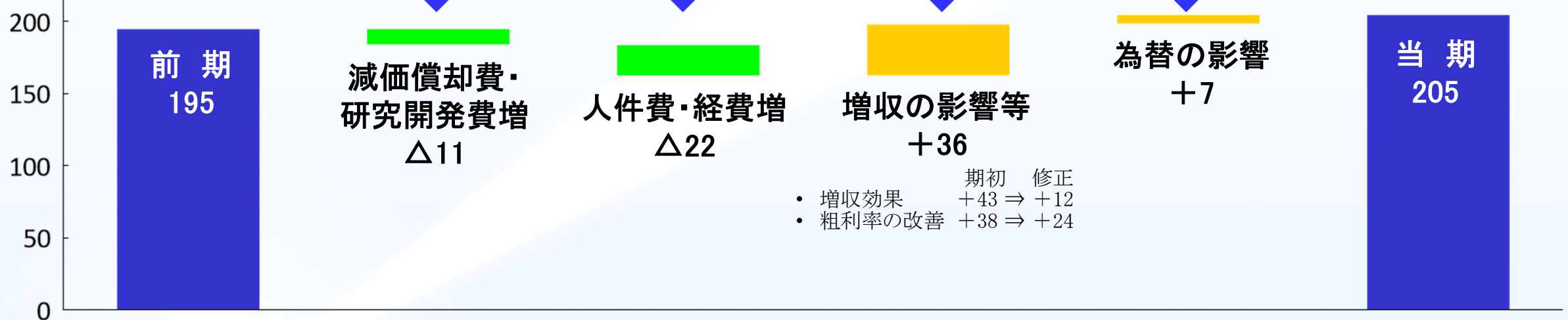
4) 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

【期初予想】



【修正予想】



- 増収効果 期初 +43 ⇒ 修正 +12
- 粗利率の改善 期初 +38 ⇒ 修正 +24

[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2024/3 前期実績	2025/3予想			増減率(%)
		期初	11月7日修正	構成比(%)	
生体計測機器	46,517	47,900	46,900	20.7	0.8
生体情報モニタ	84,130	87,200	86,900	38.3	3.3
治療機器	51,665	53,200	53,200	23.4	3.0
その他	39,673	40,700	40,000	17.6	0.8
売上高合計	221,986	229,000	227,000	100.0	2.3

(参考)

医療機器	115,638	117,900	114,700	50.5	△ 0.8
消耗品・サービス	106,347	111,100	112,300	49.5	5.6

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.9億円	1.2億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

3

当社の経営戦略

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

グローバル共通価値基準

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 3つの指標・6つの重要施策

全社収益改革を実行することで、成長領域への投資を本格化し、
グローバルメドテック企業への変革を加速

① 成長性

売上高CAGR
(24/3-27/3期)

5%

製品競争力
の強化

北米事業の成長
に注力

② 収益性

営業利益率 (27/3期)

15%

全社収益改革
の実行

グローバルサプライチェーン
の進化

③ 資本効率性

ROE (27/3期)

12%

日本光電版ROIC
の導入

キャッシュ・コンバージョン・
サイクルの短縮

サステナビリティ経営の実践

医療課題

環境課題

社会課題

2025年3月期発売の主な新製品

生体情報モニタリング事業

セントラルモニタ
CNS-2101

2021年度3Q：日本
2023年度3Q：米国
2024年度：
新興国、欧州（予定）

ミドルローエンド
ベッドサイドモニタ BSM-5700

**2024年度3Q：欧州、新興国
日本（予定）**

- ✓ BSM-3000の後継機種
- ✓ 中小病院の手術室向け
- ✓ 120時間5波形の
レビューデータを
保存可能



治療機器事業

人工呼吸器
NKV-440

米国開発・
生産

2022年度4Q：一部新興国
2024年度2Q：米国

医科向け除細動器
TEC-1000

2024年度2Q：日本、新興国

- ✓ バイタルサインのモニタリング機能を充実
- ✓ 機器のメンテナンス、
管理業務の
負荷軽減に貢献



ソリューション事業(ITS+DHS)

遠隔ICUソリューション
RemoteSense

米国開発

- 2024年度1Q：米国、2Q：機能追加**
- ✓ 複数医療機関の患者さんのバイタル
サインをWebで閲覧可能
 - ✓ サブスクリプションで提供

患者容態把握ダッシュボード
ソフトウェア QH-101N

2024年度2Q：日本

- ✓ 2025年1月から月額利用料制で
提供予定
- ✓ バイタルサインから
早期警戒スコアを
演算・表示
- ✓ 院内RRS※1を支援



※ 許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります。

※1 RRS (Rapid Response System)：院内迅速対応システム。
入院患者さんの容態急変の兆候を捉えて対応する体制。

日本：顧客価値提案の高度化による顧客基盤の強化と持続的な成長

- ✓ オートショックAEDの販売先限定が解除、AED20周年記念イベントに協賛、小学館「幼稚園」の付録作成
- ✓ 医科向け除細動器 **TEC-1000**、DHS製品 **患者容態把握ダッシュボードソフトウェア QH-101N**を発売
- ✓ 6月からサービス料金を見直し、下期から製品・消耗品の販売価格を見直し

北米：大手IDN/GPO市場、DoD/VA市場※1深耕によるブランド認知度向上と収益改革

- ✓ 脳神経機器： **Ad-Tech社の子会社化を発表**（2024年9月、株式取得実行は2024年11月中予定）
- ✓ 生体情報モニタ： DHS製品 **遠隔ICUソリューション RemoteSense**をサブスクリプションモデルで提供開始
- ✓ 人工呼吸器： 中位機種モデル **NKV-440**を発売、大手IDNからNKV-330の大口商談を獲得
サイバーセキュリティ要件などの充足により、**DoDからATO※2を獲得**（2024年8月）

その他の海外：医療機器に関する法規制対応、現地開発・生産・販売・サービス体制を強化

- ✓ 中国： 医療機器の需要低迷に伴い、販売・サービス部門を再編（2024年9月）
- ✓ インド： **検体検査試薬の新工場が本格稼働開始**（2024年9月）、医療機器の生産準備に着手
- ✓ 東南アジア： **ベトナムに販売子会社を設立**（2024年5月）、フィリピン・タイで自社による許認可取得を推進

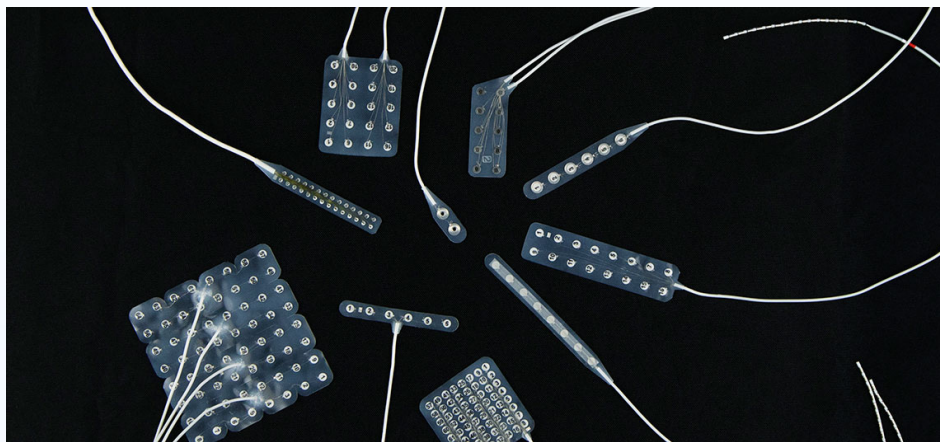
※1 IDN（Integrated Delivery Network）：総合医療ネットワーク、GPO（Group Purchase Organization）：グループ購買組織。
DoD（Department of Defense）：米国国防総省、VA（Veterans Affairs）：米国退役軍人省。※2 ATO（Authority to Operate）：運用認定。

米国Ad-Tech（アドテック）社の 親会社 NeuroAdvanced Corp.の株式71.4%の取得を発表

（2024年11月中予定）

Ad-Tech Medical Instrument Corporation

- 本社： 米国ウィスコンシン州
- 設立： 1983年
- 代表者： Brian P. Smith (CEO)
- 事業内容： 医療機器の開発、製造、販売
- 売上高： \$28M, 営業利益:\$2.8M (2023年度)
- 取得価額： 約160億円
(概算、アドバイザー費用等含む)



- **主な製品（消耗品）：**
難治性てんかんの外科治療に用いられる
深部電極や硬膜下電極など頭蓋内電極
- **日本光電との関係：**
Ad-Tech社製品の日本における独占販売権を保有、
30年以上にわたり国内の医療機関に提供

- 日本光電の**脳神経機器と高い親和性**
- 侵襲的な検査・治療に使われる消耗品の
技術・生産ノウハウの獲得により、**HMI※技術を強化**
- **売上成長・安定収益を確保**

※ HMI（Human Machine Interface）：人間と機械との接点。当社の場合、センサ技術、信号処理技術、データ解析技術の総称。

収益性

全社収益改革の実行

領域	テーマ	施策の内容（例）	改革目標値	25/3期上期の進捗状況
商品 ミックス	営業プライシング	✓ 国内外で価格政策の見直し	2% 程度	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内で製品・消耗品の販売価格を見直し（25/3期下期～） ✓ 出荷数量が少ない自社の消耗品を中心に販売中止
	製品ラインアップの整理	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 品目数の見直し、適正化 ✓ 自社品売上高比率の向上 		
生産性	人員生産性の向上（含む生成AI）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生成AI導入による業務の効率化：140万時間/年 ✓ コア業務への集中、リソースの再配置：90万時間/年 ✓ 人員増の抑制、残業時間の削減 	2% 程度	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生成AI：2,000ライセンスを導入 ✓ 製品QAチャットボットの運用開始 ✓ 総合技術開発センターでエネルギー管理システムを導入 ✓ 社用車、複合機、通信機器等の契約を見直し
	経費の削減	✓ 光熱費・賃借料・通信費などインフラ費用の削減、旅費交通費の見直し		
サプライ チェーン	部品調達の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サプライヤーとの価格交渉の高度化 ✓ Value Analysis/Value Engineeringの推進 	1% 程度	✓ インフレの影響がある中、価格交渉を継続中

収益性

グローバルサプライチェーンの進化

- ✓ PLM/MES※システムの導入を推進（稼働開始：2026/3期）
- ✓ **インド 検体検査試薬の新工場が本格稼働開始**（2024年9月）
- ✓ 鶴ヶ島新工場の建設（**着工：2024年7月**、完成：2025年末、稼働開始：2026年）

※PLM（Product Life-cycle Management）：製品ライフサイクル管理、MES（Manufacturing Execution System）：製造実行システム。 インド 検体検査試薬 新工場



日本光電版ROICの導入

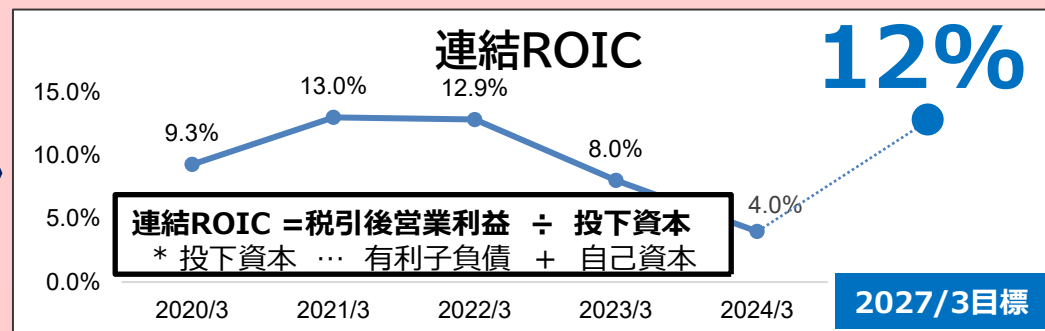
✓ 役員・部門長向けにROIC勉強会を開催、動画配信 (2024年度2Q)

- 医用電子機器関連の単一事業のため、個社（個別部門）単位で管理
- B/S外の研究開発・人件費（直近3年間）を将来投資と見なし、中長期的視点で効果測定
- 個社別ROICの把握、社内浸透を図る

日本光電版ROIC 計算式

$$\frac{\text{営業利益}}{\text{投下資本 (将来投資* + 売掛金 + 在庫 + 固定資産 - 買掛金)}}$$

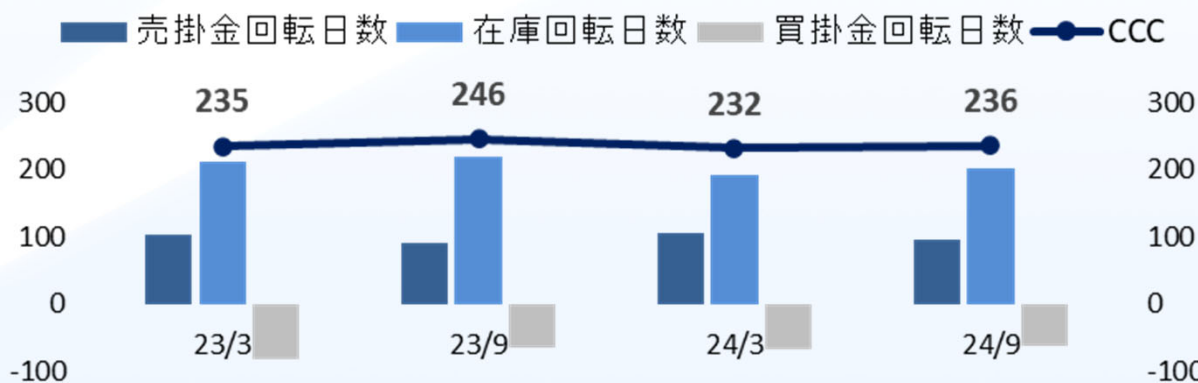
※直近3年間の研究開発費・人件費



Phase IIでは資本コストを7%と保守的に設定、IRR12%目標

キャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮

- ✓ 生産本部を新設（2024年4月）、調達・生産管理機能を強化
- ✓ PSI（生産・販売・在庫）管理の高度化を進め、製品・部品在庫は計画どおり削減
- ✓ 債権回収の早期化



2025/3目標

~190日





Phase II 目標

~175日

中期目標

~150日

Phase Iでのマテリアリティ・KPIの実績を開示 (2024年8月末) Phase IIでは、マテリアリティ・KPIを一部見直し、 サステナビリティ経営を実践

Phase I 3年間累計目標	3年間累計実績
 AED販売台数 : 35万台以上 (国内・海外、3年間累計)	32.4万台 (進捗率92%)
 搭載機種販売台数 : 85,000台以上 (国内・海外、3年間累計)	95,000台 (進捗率112%)
 接続機種数 : 7機種以上、 接続台数 : 5,000台以上 (国内・海外、3年間累計)	3機種 (進捗率 43%) 1,911台 (進捗率 38%) ※ 機種の算出方法を見直し
 環境配慮型製品売上比率 : 20%以上 (3年間累計)	19.4%
CO₂排出量 : 2023年度売上高原単位にて15.2%削減 (ISO 14001認証範囲内のScope 1, 2)	45.8%削減 (2020年度比)

https://www.nihonkohden.co.jp/sustainability/nk_sustainability/materiality.html

医療課題

✓ **インドネシア 新生児蘇生率向上**に向け、現地医師を日本に受け入れ (2024年7月)

環境課題

✓ **Green Product Label**の認定を開始 (2024年3月)
✓ TCFD提言に基づく情報開示に**事業インパクト評価を追加** (2024年10月)



社会課題

✓ **税務方針**を策定・公開 (2024年9月) ✓ **製品セキュリティの取組み**を公開 (2024年10月)

BEACON 2030 Phase II 経営目標値 (2027年3月期)

売上高CAGR5%、営業利益率15%、ROE12%の達成を目指す

	24/3期実績	27/3期目標
売上高	2,219億円	2,560億円
国内	1,423億円	1,570億円
海外 (海外売上高比率)	796億円 (35.9%)	990億円 (38.7%)
消耗品・サービス売上高比率	47.9%	50%
自社品売上高比率	73.5%	75%
ソリューション売上高比率※	11%	11%
売上総利益率	50.2%	53%
営業利益 (営業利益率)	195億円 (8.8%)	385億円 (15%)
親会社株主に帰属する当期純利益	170億円	250億円
ROIC	4.0%	12%
ROE	9.8%	12%

地域別売上高			
	売上高		CAGR
	24/3期実績	27/3期目標	
日本	1,423億円	1,570億円	3%
北米	370億円	500億円	11%
中南米	60億円	60億円	0%
欧州	131億円	140億円	2%
アジア州他	234億円	290億円	7%

商品群別売上高			
	売上高		CAGR
	24/3期実績	27/3期目標	
生体計測機器	465億円	530億円	4%
生体情報モニタ	841億円	980億円	5%
治療機器	516億円	630億円	7%
その他	396億円	420億円	2%

投資計画		
	Phase I 実績	Phase II 計画
設備投資	162億円	250億円程度
研究開発投資	189億円	235億円程度

※ソリューション事業に加え、ソフトウェア・プログラム医療機器、保守サービス品等を含む。

※ 想定レート：1米ドル = 140円、1ユーロ = 150円。

資本政策の方針

健全な財務基盤を確保した上で、将来の企業成長に向けて投資、株主還元を充実

① 将来の企業成長に向けた投資

Phase II :
研究開発投資 235億円程度
設備投資 250億円程度
成長投資・M&A 300億円以上

- ・ 生体情報モニタ、人工呼吸器、デジタルヘルスソリューションに積極投資
- ・ 鶴ヶ島新工場の建設、PLM/MESシステムや生成AIなどコーポレートDXの推進、グローバルサプライチェーンマネジメントの進化のために設備投資

研究
開発



設備
投資



成長
投資
M&A



人財
育成



② 株主還元の充実

Phase II :
280億円以上

※投資計画の進捗によっては
追加の株主還元も検討

配当

業績の伸長に応じ、安定的な増配

25/3期 年間配当金
31円 (予想)
(連結配当性向 : 43.0%)

自己株式
取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、
株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に実施

自己株式取得 :
100億円 (~25/3月)
うち 23億円 (~24/9月)

目標 : 連結総還元性向 **35%** 以上

自己株式保有 :
433万株 (24/9末: 2.5%)

③ 健全な財務基盤

医療機器の安定供給体制を確保するため、強固な財務基盤を維持

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003